

# 「海から見える島国のオキテ」 内航海運新聞で連載スタート！

全日本内航船員の会 事務局

当会で執筆の「海から見える島国のオキテ」(著:全日本内航船員の会 松見準)が、内航海運新聞で平成 27 年 3 月 9 日号から連載されておりますのでお知らせします。

## 以下、内航海運新聞 連載一回時のリード文

旧東京商船大学（現東京海洋大学）を卒業して外航船社に就職し、船員生活を送った後、海員組合の執行部員や活動家として活躍した人の多くは、在学中に船員労働問題のゼミナール（船員政策論・海上労働運動論）を主宰した笹木弘教授（90 歳）の薫陶を得て、労働運動について開眼したと言われている。その笹木教授の功績を後世に残したいと、元海員組合長の中西昭士郎氏ら有志が企画した「海に生きる」と題する本が、昨年 12 月に刊行された。執筆者の一人で「全日本内航船員の会」代表である松見準氏は、東京商船大学の卒業生ではないが、内航海運および内航船員問題に一家言を持ち、IT などソーシャルメディアを駆使して、現場船員との交流を深めている。松見氏執筆の「内航船員の会の活動～海から見える島国のオキテ～」は、内航海運関係者にとって一読に値するものと思料し、「海に生きる」出版会の了解を得て、本紙に転載することにした。松見氏は「この記事が多くの方に読まれ、内航船員の社会的な存在価値と、日本社会の未来と日本人船員の存在の関わりについて考えてもらえる切っ掛けになってくれれば嬉しい」と語っている。 (了)

\*「海から見える島国のオキテ」掲載の本「海に生きる」は、海の上文庫ショップから購入可能です。

